

ふ り が な 氏 名	きよもと ゆ か な 清源 友香奈	職 名	講師
取得学位	博士（臨床心理学）・京都文教大学大学院臨床心理学研究科博士後期課程		
所属学会	日本心理臨床学会、日本箱庭療法学会		

教 育 活 動
<p>（主な担当科目）</p> <p>2018 年：臨床心理面接特論、心療心理実習、公認心理師の職責</p> <p>2017 年：臨床心理基礎実習、臨床心理学Ⅱ、健康心理学</p> <p>2016 年：臨床心理基礎実習、老年心理学特論、臨床心理査定法</p> <p>2015 年：心理療法実習、心理学査定実習、ケース・スタディ演習</p> <p>（その他）</p> <p>スーパーヴィジョン担当</p>

研 究 活 動
<p>（著書）</p> <p>1. 感情を共有してもらえず育った子—ネグレクトを受けた子どものこころ，誠信書房（2017）</p> <p>2. 理不尽に叩かれて育った子—虐待を受けた子どものこころ，誠信書房（2017）</p> <p>3. 日本の心理療法 身体篇 秋田巖編，鶴光代・清源友香奈・北村香織・濱野清志，新曜社（2017），第二章 和太鼓演奏における身体の体験—皮膚感覚・運動感覚・深部感覚の心理臨床学的有用，pp45-pp94（分担執筆）</p> <p>4. 日本心理療法 自我篇 秋田巖・小川佳世子編，小川佳世子・手嶋英貴・加須屋明子・清源友香奈，新曜社（2016），第四章 和太鼓演奏における「私性」—非我と無我を経て：息的主体とその在り方，pp133-pp157（分担執筆）</p> <p>（論文等）</p> <p>1. 「離れられない」という人間関係の病理についての考察—小川洋子の小説『薬指の標本』を通して— 四国学院大学論集 146 号 pp17-pp39 2015 年 3 月</p> <p>2. 和太鼓演奏における合わせる体験について 京都文教大学大学臨床心理学研究報告 第 4 集 pp43 - pp56 2012 年 3 月</p> <p>3. 表現過程における体性感覚の心理臨床学的検討—和太鼓演奏者の体験の語りを通して— 心理臨床学研究 第 29 巻 6 号 pp694 - pp704 2012 年 2 月</p>



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

(研究発表等)

1. リース - 滝幸子の箱庭療法ケースカンファレンス 事例発表 「自身の素直な声に耳を傾けないことで心の育ちを抑え込んでいた青年期の女性―他者と関係を築きつつ自分を生きられるようになるまでの面接過程―」 2016 年 8 月 28 日



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY